

会 議 要 旨 録

会 議 名	令和８年度第２回毛呂山町介護保険運営審議会
開 催 日 時	令和８年１０月６日（火）午後１時２５分～２時２０分
開 催 場 所	毛呂山町役場２０１会議室
出席者氏名	【出席】鈴木会長、小林副会長、星野委員、福島委員、田中委員、紫藤委員、松本委員、小島委員、内藤委員、三浦委員 【欠席】末田委員、小山委員、後藤委員、二瓶委員、森委員
事務局職員	高齢者支援課：道地課長、小室専門員、細井主幹、田邊係長、田島係長、鳴河係長
会議次第 - 開 会 - あいさつ - 議 題 ● 高齢者総合計画策定推進会議 ・第１０期高齢者総合計画の骨子案及び方針案について 資料 1 資料 2 資料 3 ● 地域密着型サービス運営委員会 ・地域密着型サービスの運営状況について 資料 4 ● 地域包括支援センター運営協議会 ・地域包括支援センターの運営状況について 資料 5－1 資料 5－2 ● 地域ケア推進会議 ・地域ケア会議からの地域課題について 資料 6 - そ の 他 - 閉 会	
会議資料 ・第１０期毛呂山町高齢者総合計画骨子案について 資料 1 ・第１０期毛呂山町高齢者総合計画における各事業の方針案について 資料 2 ・人口ピラミッドの推移（毛呂山町） 資料 3 ・毛呂山町指定地域密着型サービス事業所一覧 資料 4 ・指定介護予防支援等業務委託事業所一覧 資料 5－1 ・介護予防給付・介護予防ケアマネジメント業務委託の事業所への委託状 資料 5－2 ・令和８年度地域課題まとめ 資料 6	

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
道地課長	1. 開会 本日はお忙しい中、ご参集頂き誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、ただ今より「令和8年度第2回毛呂山町介護保 運営協議会を開会いたします。 議事に入ります前にご報告させていただきます。 本日の審議会でございますが、委員15人のうち、出席者10人、欠席 者5人となっております。 毛呂山町介護保険に関する規則第65条第2項の規定に基づき、委員の 過半数の出席がありますので、本会議が成立していることをご報告いた します。 それでは、会議の開催に際しまして鈴木会長からご挨拶を頂戴したく存 じます。鈴木会長よろしく願いいたします。
鈴木会長	皆さんこんにちは。ずっと雨でしたが、今週から少し晴れて、やっと秋 らしくなってきたと思います。ただし皆さんもご存知のように、インフ ルエンザA型が今年は例年よりも少し早く流行しております。皆様注意 をしていただきたいと思います。コロナはそれほど流行っていない状況 でパラパラいますけれども、それほど大きな問題にはなっていないかと思 います。 本日は、議題にもありますように、この毛呂山町の介護保険運営審議は、 いろいろな会議と一緒に審議するという事になっておりまして、高齢 者総合計画の策定推進会議があつて、その後が地域密着型サービス運営 委員会、そして地域包括支援センターの運営協議会、そして地域ケア推 進会議が今回は議題になっております。それ以外にも認知症のことを審 議したりすることもあるわけです。いろいろと多岐に渡ってご審議をし ていただきたいと思います。だいぶ高齢化も進んできておりまして、今 4人に1人ぐらいが65歳の人なんです。それがもうしばらくすると もう3人に1人が65歳になってきますので、また来年度は介護保険の改 定になっています。本日はよろしく願いします。
道地課長	ありがとうございました。 次に、議事に入る前に、本日の会議資料の確認をさせていただきます。 本日の会議資料はお手元にお配りしてございます「令和8年度第2回 毛呂山町介護保険運営審議会配付資料一覧」のとおりでございます。 配布漏れの資料等がございましたら、会議の途中でも構いませんので、 事務局までお申し付けください。

	それでは、毛呂山町介護保険に関する規則第 6 5 条第 1 項の規定に基づき、鈴木会長に議長をお願いいたします。
鈴木会長	では、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。 ● 高齢者総合計画策定推進会議
鈴木会長	それではまず、「高齢者総合計画策定推進会議」を議題とします。事務局から説明をお願いいたします。
細井主幹	【第 1 0 期毛呂山町高齢者総合計画の骨子案及び方針案について】 資料 1、資料 2 をもとに説明
小室専門員	【2 0 4 0 年までの人口推移予測、毛呂山町の状況について】 資料 3 をもとに説明
鈴木会長	それでは、ただいまの事務局からの説明に対しまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。
A 委員	事務局の方に、ご質問させていただきたいんですが、今回の第 1 0 期の高齢者総合計画の方から新たに認知症施策推進計画を一体整備するということでしたが、その施策の内容の一つに、新たに若年性認知症の人への支援というところの項目があるかと思います。 毛呂山町においてはこの若年性認知症の人や、ご本人あるいはご家族から具体的に何かご相談がありますでしょうか。
鳴河係長	現在、町の地域包括支援センターの支援している若年性認知症の方はおりませんが、友人が若年性認知症になっているという相談を受けたことはございます。相談が少ない理由として、おそらく直接医療機関に相談されている方も多いのではないかとということ、またどこに相談していいかわからない方もいるのではないかと考えております。
田邊係長	介護保険係の方から補足をさせていただきます。 第 2 号被保険者の方でいわゆる 4 0 歳から 6 4 歳までの方、の特定疾病を理由とした介護認定申請で「初老期における認知症」という理由が申請件数につきましてはここ数年で全部で 1 9 件、1 1 人の方がいらっしゃいました・全て要介護になっておりましたので、包括の支援はなかったものと思います。デイサービスの利用状況では、通所介護や訪問介護、手すり等の貸与、住宅改修などが主で施設入所の方もいらっしゃる状況でございます。以上でございます。

A 委員	ありがとうございます。当院は、認知症疾患医療センターという形で診療をさせていただいているところなんですけども、若年性のアルツハイマーの方は、現状で、当院に継続通院されてる方2名ぐらいいらっしゃいますが、いずれも住所地は毛呂山町ではない方です。実際にご通院やご相談を医療機関として若年の方を受けたり、鑑別診断の若年という方が出た場合では、アミロイドベータ抗体薬が認知症アルツハイマーの新薬の対象となることが多いので、実際にできる大学病院等に繋いでるといような治療経過が多いです。 あともう一点だけ質問よろしいですか。 先ほど2040年問題についてこの人口ピラミッドの推移をご説明いただきましたが、今後やはりこのピラミッドの推移を見ても思ったんですけど、ますます厳しい状況に向かっていくのかなっていうところは皆さんご承知の通りだと思います。我々医療介護従事者としても対応しなければいけないところだとは思いますが、対応はとても難しいのかなというふうに思っております。参考までに、地方自治体としての町の方向性など、考えている方向性等があればぜひ教えていただければと思います。
小室専門員	今後、2040年問題に象徴されるように、市町村の役割はますます大きくなりますが、将来を考えますと、インフラ整備と行政サービスの提供をフルセットで維持・整備していくことは非常に難しくなっていくと考えています。 2040年あるいは2042年という「高齢者人口のピーク」という終着点を見据えて、自治体は単なる「福祉の充実」から、「持続可能な地域づくり」、「支え合いの仕組みづくり」、「社会構造の省力化・コンパクト化」や「デジタル・外部人材の活用」、「総力戦による支え合い」へと舵を切る必要があると思っています。 2025年問題はすでに直面している現時点の課題ですが、2035年、2040年、そして高齢者数が最大値に達する2042年に向けて、自治体は「限られた人や財源のリソースでどうやって住民の生活と地域社会を存続させるか」という、中長期的な逆算に基づいた行政運営・地域デザインをすすめていかなければならないと考えております。 今回第10期の計画策定にあたっても、国からは2040年を含めた中長期の推計を入れることとなっており、現在、鋭意推計しているところです。
B 委員	具体的に何かありますか。 具体的に高齢者担当課として考えうる方向性としましては、・医療・介護・予防の連携強化これは地域包括ケアシステムの深化・重度化防止になります。・「おひとりさま・超高齢期」への重層的セーフティネット構築。我々自治体職員の数も限られますので、地域や様々な主体による重

	層的な見守りを進めていかなければならないと考えております。 ・担い手不足への対応と「スマート自治体」への転換、あるいは外部人材の登用・持続可能なまちづくり（コンパクト＋ネットワーク）といったところに重点を置いていくべきと考えております。
鈴木会長	他にはございますか。 それではないようですので、高齢者総合計画策定推進会議は、これまでといたします。 ● 地域密着型サービス運営委員会
鈴木会長	議題の２、地域密着型サービス運営委員会に移ります。 事務局から説明をお願いいたします。
田邊係長	【地域密着型サービスの運営状況について】 資料４をもとに説明
鈴木会長	それでは、ただいまの事務局からの説明に対しまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。
鈴木会長	よろしいですか。 それではないようですので、地域密着型サービス運営委員会はこれまでといたします。 ● 地域包括支援センター運営協議会
鈴木会長	次に議題の３、地域包括支援センター運営協議会に入ります。 事務局から説明をお願いいたします。
鳴河係長	【地域包括支援センターの運営状況について】 資料５－１、５－２をもとに説明
鈴木会長	それではただいまの事務局からの説明に対しまして、何かご質問あるいはご意見等ありますでしょうか。
鈴木会長	よろしいですか。 それではご意見等ございませんので、次の議題に移りたいと思います。 ● 地域ケア推進会議
鈴木会長	最後にですが、地域ケア推進会議において、事務局から説明をお願いいたします。

鳴河係長	【地域ケア会議からの地域課題について】 資料6をもとに説明
鈴木会長	ただいまの事務局からの説明に対しまして、何かご質問ご意見等ございますでしょうか。
C委員	これは、専門職から出た意見なんですか？それともご本人様たちが必要だと思って出た意見ですか？
鳴河係長	事例を挙げて、専門職で考えた地域課題です。
C委員	サロンとか、これ見るとすごい必要だなと思うんですけど、作ったところの本人様たちが本当に参加されるのかなっていうところも課題かなと思う。難しいって感じました。
B委員	これ実際に、ここで上がった課題については、何か対応するということを考えてらっしゃるんですか。
鳴河係長	まず初めにお話した低栄養の部分に関しては、管理栄養士が地区に出向いて個別栄養指導を行う事業を行っております。実際に低体重だった方の6割が最終的に体重増加が見られました。今年度も引き続き実施しております。
鈴木会長	他に何かございますか？
鈴木会長	そうしましたら、他にないようですので、地域ケア推進会議もこれで終了といたします。 その次ですが、その他について事務局からお願いいたします。
細井主幹	次回の会議日程、開始時間についての確認
鈴木会長	ただ今の件について、委員の皆さんから何かございますか？
鈴木会長	よろしいですか。 それでは本日予定しておりました議題は全て終了しましたので、議長の任を解かせて頂きます。ありがとうございました。
道地課長	長時間にわたり、慎重審議を頂きましてありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、小林副会長より閉会のご挨拶を頂戴したいと存じます。

小林副会長	今回の事務局の皆様の資料は、対比できるような見やすい資料を作ってくださいましてありがとうございます。委員の皆様、来月1ヶ月後でございます。最近、私ごとですが帰りの時間が真っ暗になり、あっという間に、日が短くなったなって感じています。また、体調崩される方々もとても多くなってくるシーズンなので皆様、そして皆さんの周りの方も注意いただけたらと思います。本日もどうもありがとうございました。以上でございます。 【午後2時20分終了】
-------	--